

ハートがたくさんの村づくり vol.202

差別のない、人への思いやりを大切にする、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

南阿蘇村では、多くの観光客をはじめ、専門学校イデアITカレッジ阿蘇（通称IICA）の学生などの外国人と接する機会が多くなっています。

そこで、今月は「外国人の人権」についての課題をみなさんと一緒に考えたいと思います。

我が国で生活する外国人が急激に増え、言語、宗教、習慣などの違いから外国人をめぐるさまざまな人権問題が発生しています。

例えば、家主や仲介業者の意向により、外国人にはアパートやマンションに入居させないという差別的取扱いがされたり、公衆浴場において入浴マナーが悪いとして入浴が拒否されたり、あるいは、外国人について根拠のないわさが広まるといった事案が生じています。

平成19年6月の内閣府人権擁護に関する世論調査では、外国人が不利益な取扱いを受けることに

どう思いますか？という質問に対し「風習・習慣や経済状態が違うのでやむを得ない（33.7%）、外国人に対する差別だ！（31.7%）、日本の事情に慣れるまでトラブルがあっても仕方がない（20.2%）、外国人だから不利益な取扱いを受けても仕方がない（3.2%）、その他（1.2%）、わからない（10.0%）」といった調査結果となりました。外国人に対する偏見や差別の解消を目指して外国人の生活習慣などを理解・尊重し、偏見や差別をなくしていく必要があります。

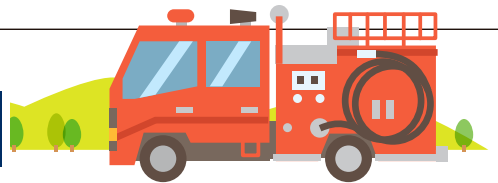
全国8カ所の法務局や地方法務局において、英語や中国語などの通訳を配置した「外国人のための人権相談所」を開設し、日本語を自由に話せない外国人からの人権相談に応じているほか、外国人に対する偏見や差別の解消を目指して啓発活動や調査救済活動に取り組んでいます。

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。 総務課 人権政策係 TEL0967 (67) 1111

なんでも 南部分署

今年も春が近づき野焼きをおこなう時期になりました。近年は阿蘇地域で野焼き中の事故が多く発生しています。火入れをおこなう際は、次のことに留意し事故や怪我のないように努めてください。

- ・リーダーは、情報や注意事項を共有し行程を参加者全員に説明する。
- ・リーダーは、全体をしっかり管理する。
- ・当日の風向き、風の強さなど気象情報を確認する。
- ・参加者（自分自身）の体調を把握する。
- ・参加者間の連絡を密にする。（着火時、飛火時の声掛け）
- ・火をつける前に尾根の上には登らない。（炎の駆け上がりがある）
- ・火をつけると突風が起き、風向きが変わる。
- ・常に「逃げ道」を考えておく。
- ・ジェットシューターを有効に配置する。
- ・慌てて行動しない。（慌てることで周りが見えなくなり、事故につながる）
- ・化学繊維などの燃えやすい服は避け、帽子・手袋・ゴーグルなどを着用する。



近年はボランティアの参加により野焼きを実施することが多くなっています。事故が起きる背景として、ボランティアの皆さんの経験が浅いことによる、入ってはいけない場所などへの進入や、地元住民の皆さんと意思の疎通ができていないことなどがあります。また、事故の経験はこれだけでなく野焼きを多少経験してきたことによる慢心が原因の事故もあります。さらには、世代交代による地元住民の経験が浅いことにより地元住民の事故も発生しています。前述したように開始前の説明などは十分に実施してください。なお、火入れをされる場合は、消防署（南部分署）または役場まで事前に連絡をお願いします。



〈問い合わせ〉阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL0967(62)9034 火事・救急 119